

# 群馬抑制廃止研究会だより

~Gunma Yokusei Haishi Kenkyukai~

平成28年7月号 通算第25号

## H28年度 群馬抑制廃止研究会 総会開催

### 総会報告

- 議 題： 1- 平成 27 年度事業報告について      3- 平成 28 年度事業計画について  
2- 平成 27 年度収支決算について      4- 平成 28 年度予算について  
5- 任期満了に伴う役員選出について

### 基調講演

テーマ： 【医療・介護の原点にもどろう！認知症ケアと身体拘束ゼロ】

元衆議院議員・旭川大学特任教授 山崎摩耶先生

平成 28 年 6 月 4 日（土）14 時から、伊勢崎駅前に新しくできました、公益財団法人脳血管研究所研宗館西棟 2 階「てんぼくホール」をお借りして、総会が開かれました。議事は平成 27 年度事業報告・収支決算報告ならびに、任期満了に伴う役員選出案が審議され、原案どおり可決されました。平成 27 年度は、群馬県の「地域医療介護総合確保基金事業」として、5 回の研修会を行いました。300 名近くの関係者を集めて各地区で、抑制廃止を中心とした介護研修を行いました。平成 28 年度には、研修会と会員相互の意見交換等を考えた例会を行うことになりました。中心は会員の皆さまです。ご意見等お待ちしております。参加よろしくお願いいたします。



### ◆基調講演を聴講して

2 部の講演会では、以前にも来ていただいた、元衆議院議員の山崎摩耶先生に「医療・介護の原点にもどろう！認知症ケアと身体拘束ゼロ」という話をしていただきました。ご自身が関係していた審議会での活動や、ヨーロッパの視察を含めて、幅広く深く考えさせられるものでした。ようやく診療報酬改定で、病院でも身体拘束の取り組みが開始されたこと、そしてなにより、介護の原点に戻り、身体拘束ゼロを考えようと熱意ある弁舌でした。認知症があっても、判断しようとしている。問いかけて、20 秒待ってあげることの大事さ。ともすると、せっちな日本人、問いかけて、自分で答えを出していませんか。はっとするお話でした。また、ヨーロッパでは、パンの間に挟むハムやチーズ、野菜、そしてコーヒー。それに比べれば、日本の食事のきめ細やかさ。ご飯、味噌汁、おかず。ご飯もおかゆにもできる。そのことは、ヨーロッパで感心されたことの一つです。日本なら普通のことでも、すごいことなのです。最後に、介護の職人さん（無意識でもスムーズに介護ができる人）の技をなんとかして、明文化して、伝達する方法を考えるべきという提言もいただきました。原点に立ち返り、群馬抑制廃止研究会も、新たな道に皆さまとともに進んでいきます。



山崎摩耶 先生

副会長 森田 修

# 平成 28 年度 役員紹介

【会 長】	加藤 綾子	(特別養護老人ホームアミーキ)
【副 会 長】	森田 修	(障害者施設ぶどうの木)
	小林 一幸	(角田病院)
【監 事】	中村 紀雄	(元群馬県議会議員)
	小林 澄昌	(特別養護老人ホームアミーキ)
【幹 事】	佐藤 由子	(介護老人保健施設うららく)
	高野 正明	(介護老人保健施設めぐみ)
	牧野 寿男	(介護老人保健施設大誠苑)
	森田 雅美	(介護老人保健施設鶴寿園)
	角田 匡哉	(介護老人保健施設大誠苑)
	小此木 一志	(ご家族代表)
	金子 渡	(群馬県議会議員 介護老人保健施設銀玲)
	滝原 典子	(介護老人保健施設アルボース)
	清水 みどり	(美原記念病院)
	木村 聡	(介護老人保健施設アルボース)
【事務局長】	能見 昭彦	(介護老人保健施設アルボース)

## 新役員からの抱負

### ◆介護老人保健施設 アルボース 看護介護部 師長 滝原 典子

現在私はアルボース看護介護部の師長をしております。アルボースが身体拘束廃止を完全撤廃できたのは今から 15 年前。その頃私は併設病院の看護師をしていました。本当にできるのかと半信半疑である一方、患者・利用者にとって、幸せだろうなと羨ましくも感じておりました。同時期に病院でも身体拘束廃止に取り組んでいましたが、治療という大きな壁とスタッフの意識の違いの中、完全廃止とはならず、不必要な身体拘束をなくすということが目標となり悪戦苦闘していた記憶があります。現在アルボースで働いていることで、身体拘束ゼロを継続している意味を改めて感じております。利用者の幸せのために、スタッフ一丸となり身体拘束ゼロに取り組む姿勢は素晴らしいと自負しております。この思いを群馬県の各施設でも味わっていただきたいと思います。今後、身体拘束という言葉がなくなることを願い、活動に参加していきたいと思っております。

### ◆介護老人保健施設 鶴寿園 4階看護 主任 森田 雅美

今年度より群馬抑制廃止研究会に新役員として参加させていただくことになりました。施設では“忙しいときこそ深呼吸”をモットーにスタッフもストレスの軽減を図っています。認知症などに対する知識や理解・対応力があれば利用者に対してひどく感情的になることはない。慢性的な人手不足がスタッフやサービスの質の低下を招いてしまうことのないよう他の施設さまと情報交換をおこない、自分の施設でも頑張っていきたい気持ちです。介護される側の思いを大切に、相手が何を思っているのかを想像し、高齢者の安全と安心が脅かされず穏やかな生活が送れるよう質の高いケアを目指して微力ではありますが、研究会の様々な専門職の方々と共に進んでいけたらと思います。よろしく願いいたします。

# 会員施設紹介

このコーナーでは、会員施設からいただいた抑制廃止の取り組み状況を掲載いたします。

## 医療法人樹心会

### 角 田 病 院



【病棟】	125 床	
一般病棟		30 床
回復期リハビリテーション病棟		48 床
障害者施設等一般病棟		47 床

### 介護老人保健施設たまむら



【入所】	100 床	
一般棟		50 床
認知症専門棟		27 床
ユニット棟（2ユニット）		23 床

## 【抑制廃止にむけた当法人の取り組み】



- 1990年（平成 2年） 6月  
抑制廃止に対する取組開始
- 1999年（平成 11年） 8月  
上川病院へ見学
- 1999年（平成 11年） 11月  
抑制しません宣言

#### ◎法人内に「抑制廃止委員会」を設置

- 法人内の抑制廃止にむけた研修の開催
- 月 1 回委員会を開催し、病棟などの状況確認

### 【初心を忘れずに！】

抑制廃止委員会は病院・老健の現場スタッフだけではなく、リハビリや医療ソーシャルワーカー等も委員として参加しています。

職場巡視をはじめ、様式の見直しやスタッフ研修を定期的に行うなど、「身体拘束廃止」にむけてスタッフ一同取り組んでいます。

角田病院地域連携課 医療ソーシャルワーカー 小林 一幸

## 賛助会員施設一覧 (五十音順)

### ★特別養護老人ホーム

あじさい園	アミーキ	ヴィレージュ	桜桃園	ことぶきの郷
ホピ園	ゆたか			

### ★介護老人保健施設

赤城苑	旭ヶ丘	アルボース	いずみの里	ウエルライフ三愛
うららく	鬼石	銀玲	クララ・トーホー	郡中附属老健
ケアピース	宏愛苑	ココン	聖寿園	大誠苑
たまむら	憩いの里八休苑	ふじあく光荘	武尊荘	まゆ玉
陽光苑	ラポールレイゾン			

### ★病院

伊勢崎福島病院	黒沢病院	駒井病院	須藤病院	角田病院
鶴谷病院	東邦病院	富士ヶ丘病院	美原記念病院	吉井中央診療所

### ★その他

株式会社ヴァティー				
-----------	--	--	--	--

## ◆随時会員募集中

入 会 随時受付。個人会員と施設単位などでご入会いただく  
賛助会員がごさいます。

会 費 個人会員 年会費 1,000 円 入会金 1,000 円  
賛助会員 10,000 円

### 入会のお願い

群馬抑制廃止研究会が設立して 15 年目を迎えることができたのも多くの方のご理解とご協力によるものだと思います。現在、管理者から現場のスタッフまで様々な職種の方が会員として参加して下さっています。皆さまそれぞれの立場で大変な努力をされていることと存じます。その思いを実らせて更に活動の輪を広げていくことが大切だと思います。多くの皆さまのご入会をお待ちしています。

群馬抑制廃止研究会事務局

発行：群馬抑制廃止研究会広報委員（森田・木村） 事務局：能見

〒372-0006 群馬県伊勢崎市太田町 427-3 TEL 0270-21-2700 FAX 0270-21-2704

<http://mihara-ibbv.jp/arbos/> →左メニューの抑制廃止研究会をクリック